

水道施設の抱える課題

ささえる つながる 未来につなぐ
—健全水道 東大阪—



水道施設の老朽化

高度経済成長期に整備したものの経年化が進行。



40年を経過した管路の割合

R1年度 36%
R12年度(推計) 54%
※管路更新をしなかった場合

災害リスク



南海トラフ地震の発生確率

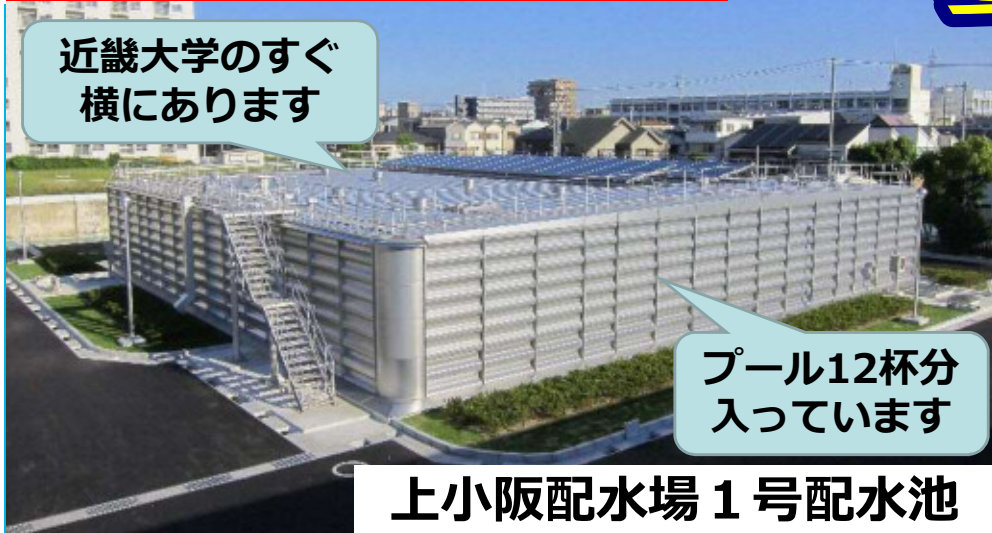
70~80%
(30年以内)

東大阪市の 水道施設整備 地震への備えが重要

水道施設をレベルアップ↑

令和2年度完成・耐震化！！

近畿大学のすぐ横にあります



プール12杯分入っています

上小阪配水場 1号配水池

- 水道施設部業務内容
- 水道施設工事の設計・施工管理
- 水道施設の維持管理
- 給水装置工事の受付・検査
- 浄水及び配水運用
- 水質管理
- 他

計画的な管路の更新・耐震化

更新前



漏水事故も発生...

更新後



ダクタイル鋳鉄管

抜けない

地盤に追従



配水用ポリエチレン管

地震に強く長持ちする水道管にしています

〇六(6724)1221
東大阪市上下水道局
水道施設部計画推進課

水道施設部では生活・経済活動に必要な「水」を24時間365日安定して送り届けるために老朽化した施設の更新や維持管理等を行っています。蛇口をひねれば水が出る、そんな「あたりまえ」を守るために日々仕事に取り組んでいます。重要な生活インフラを守る、あたりまえを守る仕事を一緒にしませんか？

水道水が出るのはあたりまえ？

南海トラフ巨大地震も高い確率で発生が予測される中、水道施設の防災対策(耐震化等)を進めています。上記写真の上小阪配水場は老朽化が進んでいたため耐震性のあるステンレス製配水池に更新しました。しかし、市内にはまだ更新・耐震化が必要な配水場や管路が残っており、今後も大規模工事を含む多くの土木工事に取組む必要があります。

大規模配水池の改築更新も行います